



(4) 元患者の方への投与の事実のお知らせの状況

		元患者数	
お知らせした		3,683人	(40%) (※1)
お知らせしていない		5,493人	(60%)
理由	投与後に死亡	1,749人	(19%)
	連絡先不明、連絡がつかない	1,715人	(19%)
	その他	2,029人	(22%)
合計		9,176人	

(※1) 元患者の方に一人でも投与の事実をお知らせした医療機関は495施設であった。

(5) 診療録等の保管状況

平成6年以前の診療録等が次のいずれかにより保管されている施設数  
(括弧内は調査対象施設数に対する割合)

	1,757施設 (27%) (※2)
(内訳)	
診療録(カルテ)	1,308施設 (20%)
手術記録あるいは分娩記録	1,397施設 (21%)
製剤使用簿	126施設 (2%)
処方箋	125施設 (2%)
輸液箋あるいは注射指示箋	244施設 (4%)
レセプトの写し	75施設 (1%)
入院サマリーあるいは退院サマリー	237施設 (4%)
その他の書類	224施設 (3%)

(※2) 平成16年の調査では「昭和63年6月30日以前にフィブリノゲン製剤を投与した記録(診療録、使用簿など)が保管されていますか。」との設問であったのに対し、今回の調査では、「平成6年以前のカルテ等の各種書類が保管されていますか。」との設問であったため、保管していると回答した施設の割合が異なったものと思われる。

(別表)

投与の年月について回答があった元患者数の投与年別の内訳

投与年	人数
昭和39年	0人
40年	3人
41年	0人
42年	4人
43年	7人
44年	7人
45年	7人
46年	7人
47年	7人
48年	13人
49年	20人
50年	21人
51年	30人
52年	44人
53年	61人
54年	105人
55年	183人
56年	256人
57年	358人
58年	607人
59年	914人
60年	1,275人
61年	1,718人
62年	1,947人
63年	1,115人
平成 元年	105人
2年	70人
3年	62人
4年	19人
5年	20人
6年	4人
計	8,989人